

「Chosun Online の記事は1週間で見れなくなりますので、以下のように引用させていただきます、ご紹介します」

<http://www.chosunonline.com/news/20091229000036>

●原発輸出：逆転に次ぐ逆転、交渉の舞台裏(上)

■1回目の電話(11月6日)＝ムハマド王子「何か言いたいことがあるのか、李明博(イ・ミョンバク)大統領「心から協力したいと思っている」

■2回目の電話(11月中旬)＝李大統領「説明のチャンスを与えてほしい」、ムハマド王子「では専門家を送れ」

■5回目の電話(12月15日)＝ムハマド王子「韓国にほぼ決定。27日か28日に訪問してほしい」

■6回目の電話(12月18日)＝李大統領のコペンハーゲン訪問中にムハマド王子から「契約締結の日時が決まった」と連絡

「原子力発電所建設受注支援のためにアラブ首長国連邦(UAE)を訪問していた李明博(イ・ミョンバク)大統領が、28日朝に帰国した。この日ソウル空港には鄭雲燦(チョン・ウンチャン)首相、ハンナラ党の鄭夢準(チョン・モンジュン)代表が出迎えにやってきた。大統領府の李東官(イ・ドングァン)広報担当首席秘書官は午後に行われた会見で、李大統領とUAEのムハマド王子との6回にわたる電話での交渉内容を公開した。

■1回目の電話(11月6日)

外交通商部の柳明桓(ユ・ミョンファン)長官が大統領府で「(UAE側から)事実上の拒絶という連絡を受けた」と報告した。李大統領は直ちにムハマド王子に電話をかけるよう指示した。ムハマド王子はUAEで落札者決定の実権を持つ人物だ。電話でムハマド王子は最初に「何をお望みですか」と尋ねてきたという。当時はフランス企業連合の受注が有力視された状況だった。すると李大統領は「今後30年、50年を見据えて兄弟国としての関係を結び、心から協力する準備ができています。最近になって原子力発電所を最も活発に建設している国は韓国だ。必要な説明をより幅広い観点から行いたい」と求めた。

■2回目の電話(11月中旬)

李大統領が重ねて「説明の機会が欲しい」と求めたため、ムハマド王子は「では複数の専門家を派遣してほしい。5週間ほど受注結果の発表を先送りしよう」と回答した。李大統領は直ちに韓昇洙(ハン・スンス)前首相や金泰栄(キム・テヨン)国防部長官らからなる特使団を UAE に派遣するよう指示した。